

2 大阪市役所における取組み

(1) 「大阪市地球温暖化対策実行計画〔事務事業編〕」

大阪市では、これまでもさまざまな温室効果ガス排出量削減の取組みを進めてきましたが、自らの事務事業に伴う温室効果ガスの排出量が市域の温室効果ガス排出量の約6%を占める市内有数の事業者であり排出者であることから一層の取組みを進めるため、平成27年度を目標年度とする「大阪市地球温暖化対策実行計画〔事務事業編〕」を平成23年3月に策定し、温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいます。削減に努めた結果、平成26年度排出量は124.7万トン-CO₂であり、平成2年度比14.9%削減となりました。

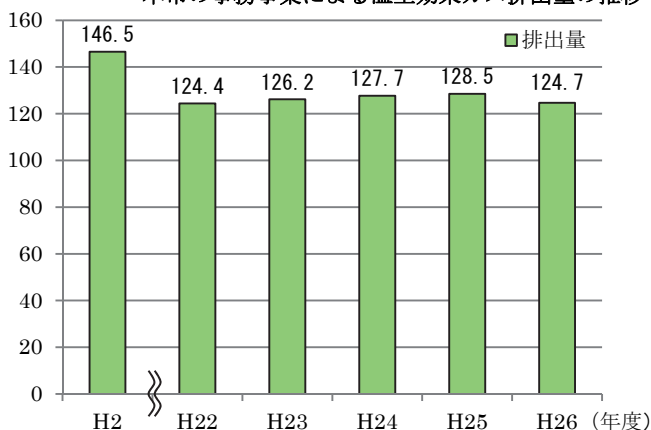
○計画の期間と目標

- ・計画期間：平成27年度までの5年間
- ・削減目標：平成27年度に平成2年度比25%の削減を達成する。

(2) 主な取組み

大阪市では、これまでも廃棄物の減量や各種設備の省エネ・省CO₂化を進めてきました。今後も計画に基づき、大阪市の事務事業による排出量の95%以上の排出量を占める計画策定時の8局については、局ごとの削減目標を示し、積極的に温室効果ガス排出量の削減に取り組めます。

(万t-CO₂) 本市の事務事業による温室効果ガス排出量の推移



大阪市地球温暖化対策実行計画〔事務事業編〕

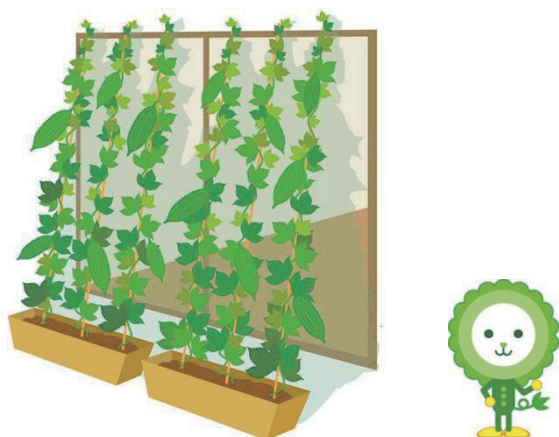
区分	目標 (平成27年度)	主な取組内容
	排出量 (万トン-CO ₂)	
本市の事務事業	109.3	—
環境局	49.0	<ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物の減量化 ○ESCO事業の実施 ○施設、設備の省エネルギー・省CO₂化 ○ごみ焼却熱による発電
建設局	20.3	<ul style="list-style-type: none"> ○施設、設備の省エネルギー・省CO₂化 ○N₂O排出抑制対策 ○下水汚泥の固形燃料化 ○道路照明灯の省エネルギー・省CO₂化 (LED灯への転換)
建設局及び 経済戦略局の一部 (旧ゆとりとみどり 振興局)	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ○博物館等へのLED照明の導入 ○ESCO事業の実施
交通局	18.2	<ul style="list-style-type: none"> ○地下鉄車両の省エネルギー・省CO₂化 ○駅舎照明の省エネルギー・省CO₂化 ○ハイブリッドバス ○信号機のLED化 ○変電所への大容量蓄電池の導入
水道局	6.2	<ul style="list-style-type: none"> ○ポンプ設備の省エネルギー・省CO₂化 ○太陽光発電、小水力発電の導入
教育委員会事務局	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ○高効率照明器具の導入による省エネルギー・省CO₂化 ○ESCO事業の実施 ○太陽光発電
大阪市民病院機構 (旧病院局)	1.8	<ul style="list-style-type: none"> ○高効率機器の導入及び運用の改善による省エネルギー・省CO₂化
健康局+福祉局 (旧健康福祉局)	1.5	<ul style="list-style-type: none"> ○施設・設備の省エネルギー・省CO₂化 ○ESCO事業の実施
その他の部局	5.2	<ul style="list-style-type: none"> ○効率的な施設の運用や大阪市内環境管理計画による削減取組み

教育委員会事務局 Top Commitment

環境問題、環境教育が注目を集める中、多くの学校を所管している教育委員会事務局としては、ヒートアイランド現象の緩和や省エネルギー化など、環境に配慮した取組みが必要であると考えております。

ヒートアイランド現象に対しては、ほぼ全ての小・中学校において壁面緑化事業を実施するなど、自然を活かしつつ、緩和を図る事業を実施しています。また、増改築に併せて、太陽光発電設備や高効率照明器具を設置・導入したり、防水改修を行う際にも、断熱性を有する素材を使用するなど、ハード整備にあたっては、より一層の省エネルギー化に努めています。今後とも、これらの事業を継続しながら、環境に配慮した学校づくりをめざします。

学校における環境教育では、幼児・児童・生徒が生活環境や地球環境を構成する一員として環境に対する人間の責任や役割を理解し、主体的に環境保全活動に取り組む態度を育成することが必要になります。そのために、地球環境保全、公害の防止、生物多様性保全、循環型社会の形成等を目的とした各校園における環境教育の充実を支援します。



建設局 Top Commitment

建設局は、道路、河川、下水道、公園という都市の重要なインフラを所管しています。これらの施設は、都市活動の利便性や安全・安心を支える一方、街の環境問題にも大きな影響を与えており、施設の新設・更新に当たっては、積極的に新たな技術を採用し、環境負荷の低減に努める必要があります。

道路においては低騒音舗装やヒートアイランド対策としての保水性舗装等を進めるとともに、省エネルギー・省CO₂のため、道路照明灯などのLED化を積極的に進めていきます。

また、都市の貴重な自然空間である河川の水辺整備を進め、併せて合流式下水道改善対策により水質の向上を図ります。更に、水都大阪の特色である「水の回廊」全体の環境改善のため、大阪府や周辺市と連携を深め、寝屋川水系全体の水質改善を図っていきます。

下水道においては、設備の省エネルギー化を図るとともに、下水処理の過程で発生する消化ガスや汚泥をバイオマスとして有効利用します。すでに、消化ガスによる発電が順調に稼働していますが、今後も新技術を積極的に取り入れ、「環境先進都市大阪」を実現していきます。

公園については、「新・大阪市緑の基本計画」にもとづき、市民生活に密着した住区基幹公園や大阪城公園などの大規模な都市基幹公園等の整備を進めるとともに、緑化を推進することによるヒートアイランド現象の緩和や生物多様性への取組み、省エネルギー効果の高い公園灯LED器具の設置など都市環境の改善を図り、花と緑あふれる快適なまちづくりを進めていきます。